

## 令和 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本市波田恋人の活性化事業
事業主体 (連絡先)	恋人の丘活性化実行委員会 (0263-92-2246)
事業区分	6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	731,812円 (うち支援金: 552,000円)

### 事業内容

松本市波田地区恋人の丘周辺では公共施設と周辺の有志事業者により売出しやイベントを共同で行っているが、近隣へ大型直売施設等が建設され、利用客が減少傾向である。昨年度より引き続き、地元有志の各団体からもご協力をいただきながら「自然・文化」<健康増進> <地元特産品PR>の要素を組み入れたウォーキングイベントを開催し、イベントを定着させることにより、当該地区や近隣の商工業者、商店街等への誘客など地域経済への波及を目指した。また、どんぐりを山林の多い波田地区を象徴する地域資源の一つととらえ、昨年実施したアンケートを参考にしながら、どんぐりを活用したクッキー等の商品化に取り組んだ。ブランド名を「恋人の丘 四季菜菜」に決定しステッカーのデザインを作成した。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

ウォーキングイベントを夏と秋の2回開催し、参加者は夏: 18名・秋: 2名(雨天のため)と多くはなかったが、各所に配置した解説員による歴史や景観スポットの解説や、特産品のふるまいなど、地域の歴史や産業などのPRができ、参加者からも好評をいただいた。

どんぐりのクッキーなどの新製品は試食会などのPRの際も好評をいただいていたおり、早く購入したいという声もいただいた。

地域の様々な団体が一つの事業に取り組むことにより、お互いに連携を図ることができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度で元気づくり支援金の活用事業は3年目となるが、規模などは変更しつつ、来年度以降も引き続きウォーキングイベントを実施していきたい。また、地域の商工業者の協力をいただきながら「恋人の丘 四季菜菜」の商品ラインナップをさらに増やしていきたい。

イベントやブランド名を定着させることにより、地域の魅力を発信し続け、当該地区や近隣の商工業者、商店街等への誘客等、地域経済への波及を目指したい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【夏のウォーキングイベント】

### 【目標・ねらい】

- ①当該地区への入込客数の増加
- ②地元農産物等の有効活用

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

- ①当該地区への入り込み客数が目標の10%増に対し2%減少。  
※ただし、イベントを実施した8月~10月の入込客数は前年同月対比9%増であった
- ②イベントの際のふるまいや、新商品の試作・試食会など行い、地元農産物等を有効活用できた。